



# ぼらんていあ通信

11月号  
通巻 No.492

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2022年11月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info/



おめでとうございます！今年度も3名の方々が表彰されました！

2022年度相模原市社会福祉功労者表彰が11月13日に、同じく相模原市社会福祉協議会社会福祉活動推進功労者表彰が11月5日に開催され、ボランティア協会からも3名の方が受賞されました。今年度も新型コロナウイルスの影響により、表彰式には受賞されたご本人のみの出席のため、受賞された皆様、ごどのようなボランティア活動をなさっているのか、また受賞された感想などを伺いました。



**\*金原健一氏**  
かねはらのけんいち

相模原市社会福祉功労者表彰受賞  
ハンディキャップ運転ボランティアとして



ハンディキャップ運転ボランティアに参加したのは定年後からです。早10年が経ちました。懐かしい方々のお顔が思い出されます。

それまでの私は福祉施設での仕事に従事していました。退職後は少したけ社会との関わりを持って、少したけお仕事をし、少したけ社会に恩返ししたいなどの気持ちからボランティアに関する持ちよつたことになりました。災害ボランティアに関与したこともありました。ハンディキャップ移送活動を通して思ったことは、多くの利用者と触れ合えたことは喜びでした。そして、スタッフの皆様のご協力によ

り田舎に運行できたことに感謝いたします。心掛けていることは、◎安全運転 ◎温かい雰囲気作り ◎時間を守ることです。「何かお手伝いするよ」とはめりませうか？」など配慮するよう努めています。ごきりだけ支障のないように調整し、ご希望に添えるよう支援をさせていただいています。カギのように自然体で穏やかな一時を共有できるよう努めます。今後ともよろしくお願い致します。

**\*口高律子氏**  
くたかほのりこ

相模原市社会福祉協議会  
社会福祉活動推進功労者受賞



第53回相模原市社会福祉大会「市民福祉の集い」にて表彰をいただき身にあまる光栄で感謝申し上げます。市長さん、主催者、来賓の方々から挨拶をいただき身が引き締まる思いでした。市社協会長からは、「人と人とのつながりを進めお互いに心と心を通わせ支え合つことの大切さを積極的に地域社会の中で育むことが重要です。今後継続して、地域の中で孤立している方々をなぐさむ互いに支え合う関係つくりを願ひ『みんなが支え合う人ごよむ』にまち相模原』を目標とし協力を



賜りみんなが安心して暮らせる町にしていきたい」とのご挨拶をいただきました。私が傾聴ボランティアに接するようになってからは、「高齢者の心を支えるボランティア養成講座」と出会い、高齢者に寄り添って心のケア活動を目指したいと決めた。今は高齢者のみならず、閉じこもりの方の悩みを持つておられる方にも傾聴が必要とわかっていふようおきこましました。益々お役にたつていふことを願ひついで。

**\*中嶋眞炳氏**  
なかじまのまひる

相模原市社会福祉協議会  
社会福祉活動推進功労者受賞

新しい（車椅子の方を乗せられる）福祉車両を買ったよー！

現在使っている相模原ボランティア協会の福祉車両11号車は、ガタガタがきています。このままでは移動サービスのボランティアは、中止せざるを得なくなる予定です。今回の相模原市社会福祉大会には、来賓として、市長、副市長、市議会議員が見えられそれぞれ祝辞とボランティアの必要と継続を訴えられました。

新しい福祉車両の取得に、知恵とご協力をお願い致します。



ハンディキャブ活動者交流会！

去る10月29日ボランティア活動室においてハンディキャブ運転者と事務局員の交流会がありました。

運転者10名、事務局員7名、その他の名の計19名の参加でした。

交流会を始める前に加藤ハンディキャブ委員長よりハンディキャブ委員会から運転者さんへの連絡事項と事務局からお願いが伝えられました。

その後簡単な自己紹介を済ませ、高橋会長から「いままでは皆さんのご努力により大きなトラブルもなく過いすことが出来ました。有難うございます」等と挨拶がありました。

次に傾聴担当理事の松原さんより皆さんに「傾聴活動のPRをお願いしたい」と思っています。傾聴活動をした方は居るが利用者さんが少ないためハンディキャブ運行時に利用者さんに資料を配布し傾聴のことを話し「トク」と。そこで傾聴は話をするところではなく利用者さんの話を聞くことです、等心得を話されました。休憩をはさんで交流会開始。

運転者と事務局員とで4、5人ずつ4つのグループに分けて話し合い。テーマを決めずフリートーク、皆さん楽しんで、人数が少ないのでそれぞれ話が進み全員参加でした。そして最後に各々のグループの代表が話題になったことを報告しあいました。

第1グループ

特に車いすの方の場口は介助者がいなくても良いと思つ場合がある。

11号車や12号車のセマンの方がやり易い。

往復でドライバーを分ける場合口ガソリン代がかさみ



不経済である。帰りのドライバーの様子が分からなく不安だったが事務局員から説明を受け納得した。

第2グループ

依頼の手順の方法を考えてエクスセル化していきたい。

ボランティアの手当てが少ないので増やして欲しいが、全体から見ると収支のバランスが悪いのでカバーしきれないのだった。

第3グループ

長時間の待機の問題は考えていかないといけない。11号車の不良口はドライバーとしては恐ろしい事なので新しい車が欲しい。

運転手さんが気持ちよく続けて下さるので大事にしたいし利用者さんも大事にしたい。

第4グループ

クラウドファンディングのことについては再度強く理事会で具体的な一歩を踏み出さう。

ボランティア活動でポイントがある良い。現在行っているハンディキャブのポイント制度はどのようか管理されているか、ポイントカードはほしいというか確認して欲しい。

このような交流会を定期的に開催して欲しい。面口について4グループ全て同じ話題が出ませんでした。偏りも少なく、メンバー構成にゆがみがないが、最後に加藤委員長から「小グループの話の口で全員が参加でき良かった。問題点は委員会に持ち帰って検討すべき口は検討して欲しい」とのこと。またハンディキャブ委員会は毎月行っているの委員でない方も時間があれば顔を揃えてほしい」と話の閉会した。



(右欄)

12月の記念日は？

小倉義男

12月9日、障害者の日です。1975年に国連総会で「障害者の権利宣言」が採択されたことを記念し、国際障害者年であった1981年の12月9日に開催された総理府（現内閣府）主催の中心記念事業「広がる希望の集い」で制定。ボラ協関係者なら常識ですね。



小倉画

事務局に新しいお仲間が！！

くさま ちずこ 草間 千寿子さん よろしくお祈いします

11月から事務局員になりました草間です。私は今年6月からハンディキャブのドライバーとしてボランティア活動を始めました。

毎月送られてくるぼらんていあ通信を見て、事務局員を募集しているのを知り、長年事務職として勤務した経験が活かせると思い応募しました。現在は先輩方に教えていただきながら、早く戦力になれるよう奮闘中です。好きなことは、旅行(海外国内とも)と美味しいもの(お酒含む)。これからは事務局員とドライバーの両方を頑張ります。お会いする機会がありましたら、気軽にお声をかけてください。どうぞよろしくお願い致します。



活動グループ訪問記

トーマス

出発・進行  
子供たちの夢を乗せたミニ新幹線  
相模湖ふるさと鉄道愛好会を訪問



10月15日(土)、3年ぶりの開催となったほかほかふれあいフェスタ2022。ウエルネスさがみはら前広場のミニSとして参加いただきました「相模湖ふるさと鉄道愛好会」代表の伊藤顕さんに「相模湖ふるさと鉄道愛好会」についてお話をうかがいました。

会は30年位前から活動を始め、人数は16名くらいです。年代は20代〜80代まで。相鉄線、JR線など現役の運転手、駅勤務の若い方も結構いらっしやるそうです。お休みも取るのがなかなか難しいのですが、高齢者が多い中、重い機材などを持っていくのを助かってますとおっしゃっています。

「イベントなど、以前は多くて年10回位声をかけてもらってました。冬はお休みで、花見の頃から秋にかけて行っています。このコロナ禍で中断していましたが、少しずつ活動が始まっています。もう来年4月のイベントに声をかけてもらっています」と、嬉しそうに話してくれました。



来年は楽しいイベントがたくさん行われると良いですね。  
活動範囲は神奈川県、山梨県、東京都、長野県、遠

くは茨城県の方まで行きます。だいたい神奈川県、東京都が多いそうです。ミニSは子どもたちが喜ぶだけでなく、大人も煙の臭いや、石炭などを懐かしそうに思っているそうです。

当日は蒸気機関車のトーマスと電気機関車の新幹線が来てくれました。今回のほかほかふれあいフェスタは午後からの開催のため、トーマスの出番はありませんでしたが、楽しそうな子どもを乗せて走る新幹線を優しく見守っていらっしやいました。トーマス、新幹線を見ているだけでも心がウキウキしてきます。

トーマスはミニSでも内部は実物大と同じ作りになっています。煤の掃除や整備に時間がかかるため、午後の開催の時は難しいそうです。

会の中で一番若い北出大貴さんにお話を伺いました。

「きっかけは愛好会の方と鉄道グッズのネットオークションで知り合い、家が近かったことから直接お会いして会話を聞き、実際に動かすのを体験させてもらいました。また会員の高齢化が進んでいるので入会して欲しいと言われ、幼稚園に入る前から鉄道が好きでミニSのイベントに行き、走りせたり乗せてもらって楽しかった経験があったので、今度は提供する側になりたいと思います。今は大学生ですが就職してからも自分のできる範囲でかかわってきたいと思っています」



優しい笑顔で運転！  
大学生の北出さん

当日は実際に運転もされてました。「童心に帰れる、子ども達に楽しかった、ありがとうと言われると嬉しいですね。機材など重い荷物も多いので役に立っているかな」と、「笑顔で話してくれました。

今、どこの団体でも高齢化、後継者不足という中で、北出さんのように若い人が自分の体験を通して次の世代に、そしてまた、次の世代に繋げていく、嬉しいことですね。これから子ども達だけでなく大人も楽しませてください。ありがとうございました。(小山)

\*相模湖ふるさと鉄道愛好会  
代表 伊藤顕  
〒193-0832  
八王子市散田町2-53-3  
TEL/FAX  
042-662-8132



寄付者が税制面での優遇措置を受けられます！ 寄付金控除制度の活用を

ボランティア協会では、来年度も、さまざまな事業を展開していくつもりですが、そのためには資金が必要です。

12月までに寄付をしてくださいと今年分の確定申告の間に控えます。

詳細は、当協会でお問合ください。

\*認定NPO法人

相模原ボランティア協会

電話 042-759-7002

会員の皆様には10月号にゆうちよ銀行の払込取扱票(手数料協会負担)を同封しましたので、ご利用ください。よろしくお願ひいたします。



理事会報告

11月12日(土) 定例理事会(理事7名出席)  
一、報告事項

◆連絡事項

・来る19日開催の地区社協発表会に会長参加。

◆広報委員会

・ぼらんていあ11月号11月24日印刷 25日発送。

◆HCC委員会

・交流会で意見について今後周知徹底する。

・11号車のヘッドライト不具合の修理、車いす昇降用

ベルトの部品交換の見積もり額が約33万円。修理

実施或いは新車への代替・リース車両利用を含め

◆継続審議

◆事務局委員会

・ドライバーの草間氏が事務局員で。

・福祉有償運送登録の更新手続き準備中。

◆講座検討委員会

・来る3月25日開催の春講座の内容確認。

・令和5年度夏講座の内容について意見交換。

◆傾聴委員会

・去る7月の傾聴ボランティア講座により11名の入

会者あり。

・来る29日に委員会として情報交換会を開催。

◆DVD制作実行委員会

・人にスポットを当てたDVD制作中

◆その他

・ほかほかふれあいフェスタ障害者週間キャンペーン

ンを来る26日実施。

◆11号車の件

・11号車の件

◆継続審議(前述)



◆新春ホウリング大会の件

・主な参加団体の意向を聴取し、次回理事会にて最終決定を行う。

◆その他

◆相模原市社会福祉審議会第41回高齢者福祉等専門分科会に参加。

◆令和4年度第1回相模原市地域福祉推進協議会に参加。

【次回理事会 12月10日(土) 10時より】

ボランティア協会の理事になって活躍しませんか!

2年に1度のボランティア協会

役員改選の時期となりました。

理事に立候補してあなたの力をボランティア協

会の事業の企画や実現にぜひ活かしてください。立

候補は、11月28日(月)より受け付けます。

立候補の詳細は手続書については事務局にて

案内しています。遠慮なくお問い合わせし相談く

ださい。

候補者としての資格

\*相模原ボランティア協会の会員であること。ただ

し、立候補の時点を入会会員となった場合も有効

\*他薦の場合は、3名以上のボランティア協会会員

の推薦が必要、但し、推薦人は他の候補者の推薦

人を兼ねることはできません。



立候補届出の手續式

\*「相模原ボランティア協会 役員候補者届」に

必要事項を記入、押印の上、事務局内、役員選

出管理委員会へ届け出。用紙は「候補者フロッ

プール」とともに事務局に用意してあります。

立候補届け出期間

\*11月28日(月)～12月19日(月) 15時まで

\*事務局受付時間内(平日10時～15時)に直接

提出。または、事務局あて郵送。

【役員選出の日程】

投票用紙の送付

\*選出対象の立候補者のフロップールとともに

「ぼらんていあ通信1月号」(1月下旬発行)

に同封。

選出すべき役員の数

7名

投票期間

令和5年2月1日(水)～28日(火)

投票の方法

\*あじさい会館事務局内に設置の投票箱まで持

参、または事務局あて郵送28日消印有効。

開票

令和5年3月

結果報告

「ぼらんていあ通信6月号」紙面

承認

令和5年5月 ボランティア協会通

常総会にて承認

(役員選出管理委員会)





公益社団法人相模原青年会議所が  
んが取り組んでいらつしやる「ク  
ワイエットアワー」についてお話  
をうかがいましたー！

わたしたち公益社団法人相模原青年会議所、地  
域グループ・地域共生委員会では、今年度「相模  
原の共生社会の実現」に向けて運動をしてまいり  
ました。

相模原市では数年前のやまゆり園での事件も  
あり、共生社会について特に考え、行動をしなけ  
ればならないと思つています。ですが、いざ運動  
をしよつと思つても何をしよつたらいいのかわ  
からないのが現状です。

それを考えたとき、「わたしたちが障害につい  
て知らない事がある」といふことが原因のひとつで  
はないかと思ひ、障害のない方に対し、障害があ  
る方を知つてもいいお話をしようと思ひ、「ク  
ワイエットアワー」といふものを市内の商業施設  
さんへ協力を依頼し、実施してきました。

「クワイエットアワー」とはあまり聞きなれな  
い言葉だと思ひます。障害のひとつに発達障害が  
ありますが、発達障害や聴覚障害のなかには、商  
業施設で流れている音楽が障害となる方がいま  
す。この方達にとっては商業施設は刺激が強  
く疲れる原因となつてしまつます。そのため、対  
策として、イヤーマフや耳栓といった音に対する  
防御を取る方もいます。

そのような方々が安心して買つ物ができる環  
境をつくるための取り組みとして、「クワイエット  
アワー」が実施されます。一時的に音や光の刺激

を緩和して営業する取り組みとして、イギリ  
スやニューヨークなど各国で広がりがつ  
あり、最近では日本でも注目されています。

わたしたちは市内の商業施設にご協力をい  
ただき、商業施設にも負担が少ない「音を一時  
間消す、または音量を下げる」といった形でイ  
オン相模原ショッピングセンターを皮切りに  
9店舗、約30回ほど実施しました。

その中でも、「新鮮市場なかや 相模原大沼  
店」「さなや」「中村書店」さんは毎週木曜日、  
クワイエットアワーを継続していただいでい  
ます。

実際に来店した方にお話を伺つと、「気づか  
なかった」といふ方が約7割でした。普段、B  
GMがあるのが当たり前になっていて、意外と  
気にしていないことがわかりました。なか  
には、「音がなまなま落ちて着へ」「仕事に集中でき  
る（店員さん）」「音があつる方が買ひ物する気  
が沸く」といった感想もあつました。

ここには載しきれないお話があつたことも事実  
で、共生社会の実現は本当に難しいことなのだ  
と実感しております。わたしたち青年会議所と  
つこの運動ができるのは今年残りわずか  
になりますが、ぜひぜひ声をあげてほしいと思  
ひます。

クワイエットアワーを実施しているお店に  
足を運んでいただき、静かな空間でのお買ひ物  
をぜひご体験ください。



**ボラ協も参加しています！！**

神奈川県では、NPO法人の認知度向上や寄付促  
進を目的に、12月の「寄付月間」に合わせて、県  
新庁舎やかながわ県民センターで活動紹介を行つて  
います。

\*県庁舎ポスター展示

11月28日(月)～12月2日(金)

\*かながわ県民センター デジタルサイネージ展示

12月5日(月)～12日(月)

\*県ホームページ・かおにゃん

Twitter・Facebook 掲載

11月中旬から

令和5年11月まで

ボランティア協会も、県庁舎で  
ポスター展示、また県HPや  
SNSなどで活動内容をPR!



**相模原ボランティア協会 12月の予定**

日	時間	内容
2(金)	13:00～	広報委員会ほら通部会
4(日)	10:00～	HC委員会
6(火)	14:00～	DVD制作実行委員会
8(木)	18:00～	ほかほかられあいフェスタ実行委員会
10(土)	10:00～	定例理事会
17(土)	13:00～	事務局委員会
19(月)	13:00～	ほら通12月号印刷
20(火)	13:00～	ほら通12月号発行
21(水)	13:30～	役員選出管理委員会

※事務局年末年始の休み

12月29日(木)～1月3日(火)

**子どもたちへ学習支援を行うボランティアを募集しています！  
今回は南区で活動を行う団体をご紹介します。**



① 学び場 ここから

日 時 原則第1・3土曜日 13:00~15:00  
場 所 クロスロードバプテスト教会（南区古淵5-10-11）

〈活動紹介〉

子どもたちが「わかった！できた！」をたくさん経験して、「もっと知りたい！もっとやってみよう！」と、ここからつぎの一步を踏み出すお手伝いをしています。

「学習サポーター」大学生や子育てがひと段落した方、定年後の方々など、月に一度でもできるところから構いません。おやつや寄付で支えてくださる「子ども居場所サポーター」も募集中！

② てらこや食堂ラッキーズ

日 時 月曜日から金曜日（週5日）16:30~18:00 ※祝日は休み  
場 所 南区相模大野6-15-27

〈活動紹介〉

相模大野駅近くにて、平日は毎日16:30から子どもたちの宿題などのお手伝いをしています。18:00から子ども食堂もやっています。学習支援だけでなく、子ども食堂のお手伝いや寄付などのご支援もお待ちしています！



※他にも市内には様々な「子どもの居場所」が存在します。他地区での活動やご寄付の相談などありましたら、下記の宛先までご連絡ください。

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982  
相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042(786)6181  
メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



ご寄付をありがとうございました。

皆さまのご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

〈10月の寄付者〉

石井 吉彦様・伊藤 達也様

その他 19名の方からご寄付を頂きました。

〈10月の寄付金〉

79,820円でした。



山口尚美画

《今月のイラスト》  
…ふう 寒くなりましたね  
ホットドリンク

編集後記

ねんりんピックの水泳競技と各種スポーツ体験や模擬店などのイベントが11月13日(日)、近所の横山公園で開催。  
一週間も前からテントの準備が始まり、前日には公園中テント村が出現。当日は枯葉舞い散る中、落葉踏みしめ朝から大賑わい。  
市社協さんのブースに手芸サークルで作ったためた干支の置物を飾っていただき、ありがとうございました。(三)

ボラ協の傾聴活動を  
利用しませんか？

当協会では傾聴ボランティア活動を行っています。外部の人との接触機会が少なく、話をしたくても機会に恵まれない方が対象で、高齢者、障がい者を問いません。活動エリアは緑区の一部と中央区、南区が中心で、月1回、2名体制での訪問となり、費用はかかりません。ご利用については、協会まで気軽にご相談ください。  
(傾聴委員会)